令和元年(2019年)台風第19号 非常災害対策本部会議(第14回)

議事次第

日時:令和元年10月28日(月)9:45~

場所:官邸4階大会議室

1. 開会 【内閣官房長官】

2. 被害状況等報告 【内閣危機管理監】

3. 各省庁の対応状況 【各省大臣等】

4. 内閣総理大臣発言 【内閣総理大臣】

5. 閉会 【内閣官房長官】

令和元年台風第19号における災害廃棄物対策(冷和元年10月27日12時時点) 環境省

年内をめどに、身近な仮置場からの搬出完了を目指す。

このために、以下の取組を実施中。

- 〇環境省職員のべ382名、支援自治体の廃棄物担当職員のべ360名を被災自治体に派遣。
- ○仮置場へのごみ搬入のため、ごみ収集車を四日市市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市から被災自治体に派遣。
- 〇これまでに7県23市町村で自衛隊と連携した活動を展開
- ○福島県郡山市の生活ごみについて、環境省保有焼却施設及び福島県内の焼却施設で広域処理を実施。
- 〇生活ごみの広域処理に要するかかりまし経費を災害廃棄物補助金の対象とすることを決定。
- ○稲わら等の処理について支援スキームを構築

災害廃棄物処理に係る工程表

仮置場の開設、 収集体制の確保

10月下旬めど

宅地や道路上からの速やかな 撤去、仮置場への搬入

11月中旬めど

身近な仮置場からの 搬出本格化

11月中旬頃~

身近な仮置場からの 搬出完了

年内めど

最終的な 処理完了

◎東北

【宮城県】

- ●課長級職員が県に常駐支援、職員を9市10町に派遣
- ●仮置場を28市町64箇所で設置済み
- ●2市2町で自衛隊と連携した活動を展開

【福島県】

- ●課長級職員が県に常駐支援、職員を9市8町に派遣
- ●仮置場を21市町村46箇所で設置済み
- ●<u>7市1町で自衛隊と連携した活動を展開(自衛隊調整リエゾンを4市1</u>町に派遣)
- ●ごみ収集車を京都市(4台を10/26~)が郡山市に派遣
- ●施設稼働停止した郡山市の廃棄物を環境省保有焼却施設(浪江町、南相馬市)(10/19~)及び福島県内の焼却施設(10/25~)で広域処理を実施

◎関東

【栃木県】

- ●課長級職員が県に常駐支援、職員を8市1町に派 遣
- ●仮置場を10市29箇所で設置済み
- ●<u>2市で自衛隊と連携した活動を展開. 栃木県佐野</u>市の路上堆積ごみは概ね撤去完了
- <u>ごみ収集車を神戸市 (6台を10/27~)が佐野市</u> に派遣

【茨城県】

<u>1. 被害状況</u>

- ●課長級職員が県に常駐支援、職員を4市2町に派 遣
- ●仮置場を9市町26箇所で設置済み
- ●2市で自衛隊と連携した活動を展開
- ●稼働停止施設のし尿の広域処理先を確保

◎中部

【長野県】

- ●課長級職員が県に常駐支援、職員 を10市に派遣
- ●仮置場を15市町村31箇所で設置済み
- ●2市で自衛隊と連携した活動を展開
- ●ごみ収集車を四日市市(1台を10/16 ~)、名古屋市(4台を10/21~)、<u>大阪</u>市(5台を10/30~)が長野市に派遣
- ●広域連携計画に基づき、災害廃棄物の広域処理に向けて富山県が中心となって調整中

長野市における災害廃棄物の撤去(One NAGANO)状況

- 〇 長野市は、「One NAGANO(ワン ナガノ)」と呼ばれる、住民・ボランティア・自衛隊・行政(市・県・国)・民間事業者の連携スキームにより、街中からの災害廃棄物の撤去を実施中。
- 昼間に街中の災害廃棄物を集積場所(赤沼公園、大町交差点付近)に集め、 夜間に自衛隊の車両等で 長野市が管理する仮置場へ移送。



台風19号災害より、大量に発生した災害廃棄物を被災地域から無くすことが、緊急の 課題となっています。ポランティアの皆さんの力を貸して下さい

市民 ボランティア 行政 自衛隊が一体とかるこの活動を「One NAGANO(ワンナがハ)」と会名



街中(大町地区)







集積場所(赤沼公園)



